

地域における理解促進に向けた取組について

③ 長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会【平成28年度から令和4年度まで44回開催】

開催日	回数	主な議題
H28年5月12日	第1回	BSL-4施設設置計画
6月2日	第2回	ウイルスの特徴、立地の地価等
6月30日	第3回	施設の安全対策、施設のリスク対策等
7月13日	第4回	国の関与、立地の安全性等
8月3日	第5回	委員からの質問・意見
8月31日	第6回	委員からの質問・意見
9月9日		国立感染症研究所の視察
9月27日	第7回	委員からの質問・意見
12月25日	第8回	委員からの質問・意見への回答
H29年2月17日	第9回	基本構想、熱研における病原体の安全管理状況、委員からの質問・意見への回答
5月23日	第10回	基本構想(中間まとめ)、委員からの質問・意見への回答
7月4日	第11回	基本構想(中間まとめ)、委員からの質問・意見への回答
8月22日	第12回	基本構想とりまとめ、委員からの質問・意見への回答
12月20日	第13回	基本構想、諸外国のBSL-4施設、安全確保上考慮すべき事象、委員からの質問・意見への回答
H30年2月9日	第14回	基本構想の印刷・配付、委員からの意見書、委員からの質問・意見への回答、平成30年度予算政府原案、安全確保上考慮すべき事象
3月18日	第15回	前回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答、安全確保上考慮すべき事象
5月8日	第16回	安全確保上考慮すべき事象、委員からの質問・意見への回答
6月29日	第17回	BSL-4施設的设计概要、前回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答
7月20日	第18回	委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントに基づく対応、建設までの主な工程
8月10日	第19回	委員からの質問・意見への回答
9月28日	第20回	BSL-3実験室からの排気検査結果、リスクアセスメントに基づく対応、緊急時の対応、委員からの質問・意見への回答
10月26日	第21回	第20回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答
11月14日	第22回	今後のスケジュール、委員からの質問・意見への回答
12月19日	第23回	委員からの質問・意見への回答
H31年2月6日	第24回	今後のスケジュール、平成31年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答
R元年5月14日	第25回	今後の審議事項、建設工事の状況、平成30年度予算の執行状況、委員からの質問・意見への回答
7月17日	第26回	建設工事の状況、平成30年度予算の執行状況、委員からの質問・意見への回答
9月27日	第27回	建設工事の状況、地域説明の予定、監理委員会や予算要求の状況、委員からの質問・意見への回答、運用規則の検討

開催日	回数	主な議題
R元年11月19日	第28回	建設工事の状況、説明会等の実施状況、委員からの質問・意見への回答、運用規則・教育訓練
R2年2月7日	第29回	建設工事の状況、地域連絡協議会の報告会、令和2年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答
8月21日	第30回	建設工事の状況、令和元年度予算の執行状況、監理委員会報告、研究棟の建設計画、委員からの質問・意見への回答
8月25日	第31回	委員からの質問・意見への回答
10月14日	第32回	建設工事の状況、令和3年度概算要求、ロードマップ2020の採択、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応①(陽圧防護服)
12月18日	第33回	建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応②(実験者の管理、実験内容の確認及び地域への伝達)
R3年2月12日	第34回	建設工事の状況、令和3年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応③(廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理)
3月17日	第35回	建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応③(廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理)
5月31日	第36回	研究棟建設工事の状況、令和2年度予算の執行状況、監理委員会報告、委員からの質問・意見への回答、施設設備の維持管理及び緊急事態への対応
6月2日	第37回	実験棟視察の事前説明、実験棟視察、質疑応答
7月19日	第38回	研究棟建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答
10月26日	第39回	研究棟建設工事の状況、長崎県・長崎市・長崎大学による緊急時の対応に関する検討状況、委員からの質問・意見への回答
R4年3月23日	第40回	研究棟建設工事の状況、長崎県・長崎市・長崎大学による緊急時の対応に関する検討状況、委員からの質問・意見への回答
6月28日	第41回	監理委員会報告、令和3年度予算の執行状況、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、伝達を行う目安、委員からの質問・意見への回答
9月27日	第42回	感染症研究出島特区・高度感染症研究センター出航式の開催、伝達、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、安全管理に向けた施設運用に関する事項(実験棟の安全管理規則案)、委員からの質問・意見への回答
12月20日	第43回	地域への情報伝達、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、安全管理に向けた施設運用に関する事項(実験棟の病原体等取扱安全管理基準案)、委員からの質問・意見への回答
R5年2月15日	第44回	安全管理に向けた施設運用に関する事項、委員からの質問・意見への回答、新たな地域連絡協議会への移行

④ 長崎大学高度感染症研究センター実験棟の運用に関する地域連絡協議会【令和5年度から10回開催】

開催日	回数	主な議題
R5年 7月24日	第1回	新たな地域連絡協議会、高度感染症研究センター実験棟に関する報告、監理委員会報告、長崎市地域防災計画
10月17日	第2回	高度感染症研究センター実験棟に関する報告、長崎市地域防災計画、他機関での事象紹介
R6年 2月13日	第3回	高度感染症研究センター実験棟に関する報告、長崎市地域防災計画
6月3日	第4回	高度感染症研究センター実験棟に関する報告、監理委員会報告、長崎市地域防災計画
10月29日	第5回	高度感染症研究センター実験棟に関する報告、災害等対応計画策定準備
R7年 1月28日	第6回	特定一種病原体等所持施設指定報告、高度感染症研究センター実験棟に関する報告

○令和7年3月24日 第7回

【議題: 高度感染症研究センター実験棟に関する報告、管理委員会報告】

大学等からの報告等	委員からの主な質問・意見
<p><教育訓練></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザラウイルス、フニンウイルス(Candid#1株)、インフルエンザウイルス(PR8株)の3種類のBSL-2レベルのウイルスを令和6年11月8日に搬入した。 ・上記3種類のウイルスを使用し、①ウイルスの搬入手順、②ウイルス保管容器の管理手順、③保存用ウイルスの作成手順を検証した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのくらいの保存用ウイルスを作成するのか。また培養したウイルスの変異の有無は調べるのか。 ・今回の訓練は何人参加し、どの程度の時間実施したのか。BSL-4施設を稼働させるには、習熟者が何人必要になるのか。
<p><実験棟における事故等の対応策の検討></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策の検討について、長崎県警察と不審者対応訓練及び警察への連絡訓練を実施した。 ・災害事故発生時の対応策について、長崎市及び長崎市消防局との訓練を令和7年度に実施する計画で準備を進めている。 ・実験棟内で人が倒れた場合の救命対応について、長崎大学病院及び保健センターに協力いただき、AEDの使用訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災で避難訓練を多く実施している学校の生徒は助かり、そうではない学校の生徒の死亡事例が多かったという教訓があるので、毎年1回は必ず警察との訓練を実施していただきたい。 ・内部の精神的に不安定な方が事件を起こした場合の対応は考えているのか。心身の健康状態の確認は定期的に行っていただきたい。 ・実験棟での実験者は身分的には有期雇用か終身雇用か。有期雇用であるがゆえに過剰なストレスが研究者にかかるということもある。心身の安定のためにもこういったことも考えておく必要があると思う。 ・心身の安定のため、ヘルプライン(法律相談体制)を作ってはどうか。また、金銭面でのストレスは大きく、過去の企業での不祥事案の原因はお金のストレスであった。

○令和7年7月2日 第8回

【議題: 令和7年度地域連絡協議会委員、高度感染症研究センター実験棟に関する報告】

大学等からの報告等	委員からの主な質問・意見
<p>＜教育訓練＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「管理区域に立ち入る者(BSL-4実験室に立ち入る者)」を対象とした年次訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外のBSL-4施設で経験のある研究者は、年次訓練で特別待遇されるのか。 ・年次訓練ということなので、一度受けた人も1年たてば、毎年同じような訓練を受けるということか。
<p>＜実験棟における事故等の対応策の検討＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎市の地域防災計画に本学BSL-4施設に係る事故・災害等対応計画が掲載された。 ・長崎市、長崎市北消防署と消防通報訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の教訓に基づき、訓練は毎年必ず実施いただきたい。 ・訓練の経過記録をホワイトボードのようなものを書いていくとのことだが、実際に火災等が発生した場合でも同様のことを行うのか。
<p>＜実験棟の屋外スピーカーの使用訓練＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年10月下旬頃に屋外スピーカー訓練の実施を計画している。 ・冒頭のチャイム音を非常時を想起させるような音種に変更することを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き逃すこともあることから、「チャイム音を2回鳴らしてメッセージを1回言う」を2回繰り返してはどうか。 ・緊急時しか鳴らさないのであれば、サイレン音のほうが良いのではないか。 ・屋外スピーカーを鳴らした後、何があったかを住民が確認する方法は何かあるのか。

○令和7年11月19日 第9回

【議題: 高度感染症研究センター実験棟に関する報告】

大学等からの報告等	委員からの主な質問・意見
<p>＜教育訓練＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーツ着用下でのウイルス取扱訓練及び小動物を用いた訓練を実施した。 ・スーツ着用下での非ヒト霊長類(サル)を使用した訓練を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルスを入れて保存する細いチューブをバーコードで管理するとのことであるが具体的にはどのように管理するのか。
<p>＜実験棟の屋外スピーカーの使用訓練＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月28日に屋外スピーカーの使用訓練を実施した。 ・放送内容は、4音チャイムを2回鳴らした後にアナウンスを流し、次にサイレン音を2回鳴らした後にアナウンスを流すというものをワンセットとし、音量を上げながら15分間隔で3回実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的な数値で分かるように、確認地点で音量をデシベルで測定いただきたい。 ・家の中では聞こえなかった。家の中でも聞こえるような方策を考えていただきたい。 ・長崎市の広報車を出動させる等、大学では連絡が行き届かないところを網羅する意味で市と大学が連携していただけると良いと思う。
<p>＜実験棟における事故等の対応策の検討＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂本1団地の自衛消防組織の分隊として実験棟自衛消防組織を設置し、10月28日に行われた防災訓練に参加した。 ・10月8日に行われた委託会社による講習会に参加し、警備における警棒等の道具の取扱いに係る講義を受講した。 ・非常用備蓄食料等を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時に、原子力施設のようにテレビの字幕速報でBSL-4実験棟に異常はない旨の速報を流せないか。

○令和8年2月4日 第10回

【議題：高度感染症研究センター実験棟に関する報告】

大学等からの報告等	委員からの主な質問・意見
<p><教育訓練></p> <ul style="list-style-type: none">・意識不明者が発生した場合を想定した緊急搬出のための搬出訓練を実施した。・来年度、リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス、オロプーシェウイルス、ランガットウイルスの3つのウイルスを新たに取扱うことを考えている。 <p><研究(実験)></p> <ul style="list-style-type: none">・カニクイザルを用いた研究訓練を実施した。低病原性ウイルスを感染させ、飼養、手技の検証、ならびに病原体の不活化条件等の検証を行った。	<ul style="list-style-type: none">・意識不明者を搬送用の毛布に乗せるまでが大変ではないか。サポートの在り方等、練習を継続いただきたい。・ペアで実験室に入室した際に片方の実験者がパニック等で突然暴れたした場合を想定した訓練も実施するべきではないか。・BSL-2ウイルスを使用した訓練でアクシデントはあったか。また、BSL-3のウイルスを使用するほうが実験者の緊張感が変わるのではないか。
<p><実験棟における事故等の対応策の検討></p> <ul style="list-style-type: none">・令和8年2月に不審者・不審物への対応訓練を実施予定である。 <p><警察への通報訓練時のホームページ掲載訓練></p> <ul style="list-style-type: none">・上記訓練の一環として、事故災害発生時のホームページへの掲載訓練を実施する。	<ul style="list-style-type: none">・警察から過去の事例を紹介いただき、警察指導の下、訓練を実施するのか。・どのレベルの事故等が発生した場合に実験を中止すべきかの検討もお願いしたい。



委員会場



委員会場（第6回協議会における
森内議長からの挨拶）



傍聴会場（一般傍聴者・報道関係者）

地域理解活動（最近の活動状況）

① 刊行物(地域広報誌)

・地域連絡協議会での意見交換等の様子をお伝えするとともに、センターに所属する研究者や研究の紹介、感染症に関する身近な話題などを掲載。
(7000部発行、うち4000部は隣接する6自治会の地域にポスティング)



- ・令和7年 5月 感染症ニュースVol.9
- ・令和7年 8月 感染症ニュースVol.10
- ・令和8年 1月 感染症ニュースVol.11

② 市民向け公開講座

・令和7年9月6日(土) 14:00~15:30
市民公開講座:
「エイズウイルスへの挑戦」
講師：有海康雄 准教授
オンライン参加 48枠 会場参加 7名



・令和8年3月14日(土) 14:30~16:00(予定)
市民公開講座:
「今なら落ち着いて考えられる、基礎系研究者がはたから見ていたmRNAワクチンのはなし」
講師：平野港 助教

長崎大学高度感染症研究センター市民公開講座
エイズウイルスへの挑戦

かつて未知の脅威であったエイズ(AIDS)は、現在社会不安を醸成する。エイズウイルス(HIV)が原因で、エイズウイルスの感染が原因で、同時に、免疫不全がエイズウイルス感染に伴って起こる。エイズウイルス感染の予防や治療に役立つワクチンや治療薬の開発が、エイズウイルス感染の予防や治療に役立つ。エイズウイルス感染の予防や治療に役立つ。エイズウイルス感染の予防や治療に役立つ。

講師：有海康雄 准教授
長崎大学高度感染症研究センター
エイズウイルス感染症研究分野

会場：長崎大学本キャンパス112-4
高度感染症研究センター本館1階

開場：13:30
開講：14:00
終了：15:30

参加費：無料

申し込み：長崎大学本キャンパス112-4
高度感染症研究センター本館1階
受付時間：13:30~15:30

申し込み：長崎大学本キャンパス112-4
高度感染症研究センター本館1階
受付時間：13:30~15:30

長崎大学高度感染症研究センター市民公開講座
今なら落ち着いて考えられる、基礎系研究者がはたから見ていた mRNAワクチンのはなし

私たちの身体には、外から来た「病原体」が自分の体の中で生き残れないように防御する仕組みがあり、免疫と称されています。この防御システムによって、多くの感染症を防ぐことができています。しかし、この防御システムがうまく働かないと、感染症が重症化したり、死に至ったりすることがあります。基礎系研究者が、この防御システムを詳しく研究することで、感染症の予防や治療に役立つワクチンや治療薬の開発が、感染症の予防や治療に役立つ。

講師：平野港 助教
長崎大学高度感染症研究センター
基礎系研究分野

会場：長崎大学本キャンパス112-4
高度感染症研究センター本館1階

開場：14:30
開講：15:00
終了：16:00

参加費：無料

申し込み：長崎大学本キャンパス112-4
高度感染症研究センター本館1階
受付時間：14:30~16:00

③ 中高生への理解増進活動

・令和7年7月27日(日)13:00~16:00
 熱帯医学・新興ウイルス感染症サマースクール
 (熱帯医学研究所と共同主催)



講演:「はたらかされる細胞~ウイルスは細胞をハイジャックする!？」

講師:野依 修 助教

会場参加32名 オンライン参加15名



研究紹介(ポスター): 矢島美彩子 助教
 テーマ:「スーツ型BSL-4施設と陽圧防護服の紹介」
 参加 中高生等13名

個人防護具着脱体験:リエゾン推進室
 参加 小中高生10名

・令和7年9月30日(火)14:30~16:00
 長崎県立長崎南高等学校 サイエンス講座「感染症とたたかう」
 講師(および補助): 好井健太郎 教授ほか計6名の教職員
 ※講演後、実験器具に触れる等の体験を実施
 参加 同校1年生生徒 27名



④地域イベントへの参加等(会場設営、運営スタッフとして)

- ・令和7年 7月 6日(日) 山里ふれあい七夕まつり
- ・令和7年 8月 2日(土) 被爆80周年記念事業、平和町商店街夏祭り
- ・令和7年12月 6日(土) 山里クリスマスイルミネーション点灯式
- ・令和7年12月21日(日) 山里ふれあいクリスマス会

